

令和6年度 第2回

宇都宮市文化財保護審議委員会

日時：令和7年2月19日（水）午前10時00分～午前11時30分

場所：宇都宮市教育センター 5階 研修室503・504



宇都宮市文化財保護審議委員会

会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 委員長及び副委員長の選出について

(2) 宇都宮市指定文化財の指定に係る答申について
「木造薬師如来坐像」

資料 1 ～ 3

「下砥上のウメ」

資料 4 ～ 6

3 報 告

(1) 令和 6 年度の主な文化財関係事業報告について

資料 7

4 その他

5 閉 会

宇都宮市文化財保護審議委員会委員名簿

部 会 名	氏 名	役職名等	備考
第1部会 絵 画 彫 刻 工 芸 品 書 跡	おおさわ けいこ 大澤 慶子	文星芸術大学 教 授	
	ほんだ さとし 本田 諭	根津美術館 第二課長	
第2部会 考古資料 史 跡	さいとう つねお 齋藤 恒夫	栃木県考古学会 会 員	
	やなぎ まこと 梁木 誠	栃木県考古学会 顧 問	
第3部会 歴史資料	たかやま けいこ 高山 慶子	宇都宮大学 准教授	
	こやなぎ まゆみ 小柳 真弓	栃木県立博物館 特別研究員	
第4部会 天然記念物	はやし てるたけ 林 光武	栃木県生物多様性 アドバイザー	
	あいざわ みねあき 逢沢 峰昭	宇都宮大学 准教授	
第5部会 無形文化財 民俗文化財 建 造 物	おがわ きよし 小川 聖	宇都宮伝統文化連絡協議会 会 長	
	おおたけ あきのり 大嶽 陽徳	宇都宮大学 助 教	

2 議事

(1) 委員長及び副委員長の選出について

(2) 宇都宮市指定文化財の諮問に係る答申について

①「木造薬師如来坐像」の答申について

ア 審議の目的

宇都宮市附属機関に関する条例第2条の規定に基づき、宇都宮市教育委員会より諮問があった案件について、専門調査部会の調査結果及び意見をもとに検討し、宇都宮市指定文化財（有形文化財）として指定することが適当かどうか審議するもの

イ 諮問の概要

- ・ 諮問案件名 木造薬師如来坐像 資料1
- ・ 諮問年月日 令和5年11月21日

ウ 諮問後の措置

宇都宮市文化財保護審議委員会にて受理し、第1専門部会が調査を実施。

エ 専門調査部会による調査結果

宇都宮市文化財調書（写） 資料2

オ 専門部会の意見

宇都宮市指定文化財に指定することが適当と考えられる。
指定名称は、「木造薬師如来坐像」とすることが適当である。

カ 答申書（案） 資料3

②「下砥上のウメ」の答申について

ア 審議の目的

宇都宮市附属機関に関する条例第2条の規定に基づき、宇都宮市より諮問があった案件について、専門調査部会の調査結果及び意見をもとに検討し、宇都宮市指定文化財（有形文化財）として指定することが適当かどうか審議するもの

イ 諮問の概要

- ・諮問案件名 下砥上のウメ 資料4
- ・諮問年月日 令和6年6月10日

ウ 諮問後の措置

宇都宮市文化財保護審議委員会にて受理し、第4専門部会が調査を実施。

エ 専門調査部会による調査結果

宇都宮市文化財調書（写） 資料5

オ 専門部会の意見

宇都宮市指定文化財に指定することが適当と考えられる。
指定名称は、「下砥上のウメ」とすることが適当である。

カ 答申書（案） 資料6



令和5年11月21日

宇都宮市文化財保護審議委員会委員長 様

宇都宮市教育委員会
教育長 小堀 茂雄

宇都宮市指定文化財の指定について（諮問）

所有者より、宇都宮市指定文化財指定申請書が提出されたことから、下記のとおり諮問いたします。

記

1 対象文化財

名 称	員数	所 在 地	所 有 者
木造薬師如来坐像	1 軀	宇都宮市徳次郎町 1863	宇都宮市徳次郎町 1863 宗教法人 伝法寺

2 諮問の理由

本像は、徳次郎町の北部にある曹洞宗護鷹山伝法寺が所蔵するものであり、本堂内に安置されている。

木造薬師如来坐像は、像高が 87.0 cm、寄木造で玉眼嵌入、右手は施無畏印を結んでいる。左手に薬壺を持す。首、顔は後補である。

本像は、近年の修繕で金泥が塗布されてはいるものの、造像当初の像容を残し、市内では希少である南北朝期の仏像で、院派の仏師による作とみられることから貴重な仏像であるといえる。

(提案の理由)

宇都宮市指定文化財の指定について諮問するものです。

参照 宇都宮市附属機関に関する条例第 2 条

様式第2号

宇 都 宮 市 文 化 財 調 査 書

名称及び員数	木造薬師如来坐像 (員数 一軀)		
文化財の種類	彫刻		
所在地	宇都宮市徳次郎町1863		
所有者又は管理者	氏名	宗教法人 伝法寺	
	住所	宇都宮市徳次郎町1863	
年代又は時代	南北朝時代後期～室町時代前期		
法量又は寸法	単位はcm		
	総高	171.2	
	像高	84.2	髪際高 74.2
	最大幅(膝張)	76.0	最大奥 64.0
	頭頂-顎	32.8	面長 20.8
	面幅	19.3	面奥 27.0
	耳張(上)	22.1	耳張(下) 18.8
	胸奥(右)	24.6	胸奥(左) 23.8
	腹奥(衣含む)	29.3	
	膝張	70.2	膝高(左) 15.2 (右) 15.5
	像底部奥	60.0	像底部幅 68.0
	像芯束	幅5.5 奥2.2	
	規模及び構造	木造 漆箔・彩色 玉眼	
作者名	不詳		
画賛・奥書・銘文	なし		
現況	昭和55年修理時の表面彩色。		
形状	<p>螺髪。肉髻珠、白毫珠、耳垂部不貫。裾、覆肩衣、衲衣を着ける。衲衣は左肩から右肩に少し懸け、腹前をとおり左肩に懸けて折り返す。右手を挙げ第2・3・4指をかるく曲げ、左手は右足にのせ全指をまげ薬壺を執る。右脚を外に結跏趺坐する。両足先まで衲衣で覆う。覆肩衣の端部を左足に懸けてあらわす。</p> <p>品質構造 檜材か。寄木造り。彩色・漆箔。玉眼嵌入。肉髻珠・白毫、各水晶嵌入。耳孔を穿つ。</p>		

頭・体部ともに前後二材製。内刳りを施す。挿首。体部前面材から像底に像心束を下ろす。面相部を両耳前で矧ぐ。両体側部に前後二材、体部前後材の連結束二材、両脚部一材（裳先含む）、両手首先を矧ぐ。頭部材の螺髪は別材を張り付けるか。

肉身部は漆箔、螺髪群青彩、衣部は古色仕上げ。

保存状態

面相部の彫出、頭部二材の螺髪、右手第5指、持物薬壺、表面漆箔・彩色仕上げ後補。体幹部前後材を繋ぐ両束材も後補。像底地付部の一部の小材、地付部や内刳り部の矧ぎ目の布張り後補。

光背、台座後補。

所見	(指定の有無の理由等)
	<p>伝法寺本尊薬師如来坐像は、左肩の衲衣にC字状の襷をあらわす衣文表現、肩の張った角ばった体軀、猫背の姿勢、足先まで衣で包む形状、内刳り部で前面材の中心部から地付部かけて束を彫り出し、体幹部前後材両端に束をわたす構造技法ともに、南北朝時代の院派仏師に連なる特徴を示す。</p> <p>本寺位牌堂安置の院派仏師による釈迦三尊像（令和5年〈2023〉市指定）の普賢・文殊両脇侍と比べると、耳甲介部をかなり上方にあらわす点、右肩に懸かる衲衣の形式など、若干形骸化が見られることなどから、位牌堂像より少し下る、南北朝時代の後期から室町時代前期にかけての院派仏師の作とみてよいと思われる。</p> <p>本寺の北西の山中にある「妙哲禅師の墓附墓碑」（県指定）銘文によると、本寺の開山は大田原雲巖寺開山高峰顕日（仏国国師。1241-1316）の弟子大同妙哲（?-1349）である。墓碑銘によると貞和5年（1349）に示寂、観応2年（1351）に門人が墓塔を建立した。妙哲と同じく高峰顕日の弟子であった真空妙応（?-1351）が開山の宇都宮・興善寺の本尊は、院吉・院広・院遵作の釈迦如来坐像（文和元年〈1352〉）である。二人の師高峰顕日の坐像（重文、鎌倉・建長寺塔頭正統院）が、国師示寂前年の正和4年（1315）に「三河法橋院恵」により造立されている。ここに国師と院派仏師の関わりを伺い知ることができ、国師の法脈を継ぐ妙哲開山の伝法寺、妙応開山の興善寺の造仏に院派仏師が関わったことは、自然な流れと考えられる。</p> <p>本像については、頭部面相部や後頭部の螺髪など、後世の彫り直しや補修部分により、正確な造立年代は不詳であるが、禅僧・禅宗寺院と院派仏師との関わりを示す例としてたいへん貴重である。</p>

厨子内修理銘札

翻刻

本尊薬師如来改修

原作者 不詳

稲村堪元師推定 仏体は南北朝作、台座、光背は

火災で焼失、その後の作

昭和五十五年十二月吉祥日当山二十三世透宗文教代改修

仏師 島 尚、 祖先は福岡県に於て数代仏師の家柄

九州福岡県柳川に於て修養後東京

浅草にて就職、現在地、埼玉県比企郡小川町能増

昭和 55 年 (1980) 二十三世透宗文教のとき、福岡出身で比企郡小川能増住の仏師島尚が改修した旨を記す。現在の同人の所在は不詳。明治 30 年 (1897) の「古今名家印譜古今美術家鑑書画名家一覧」(東京文化財研究所 書画人名データベース 807171) に「島仏師」の名が掲載されるが、この系譜に連なる仏師であろうか。

調査年月日	令和6年2月5日
調査担当者氏名	大澤慶子  本田諭 

【添付資料】木造薬師如来坐像写真



伝法寺木造薬師如来像 全身正面



同 全身背面



同 全身右側面



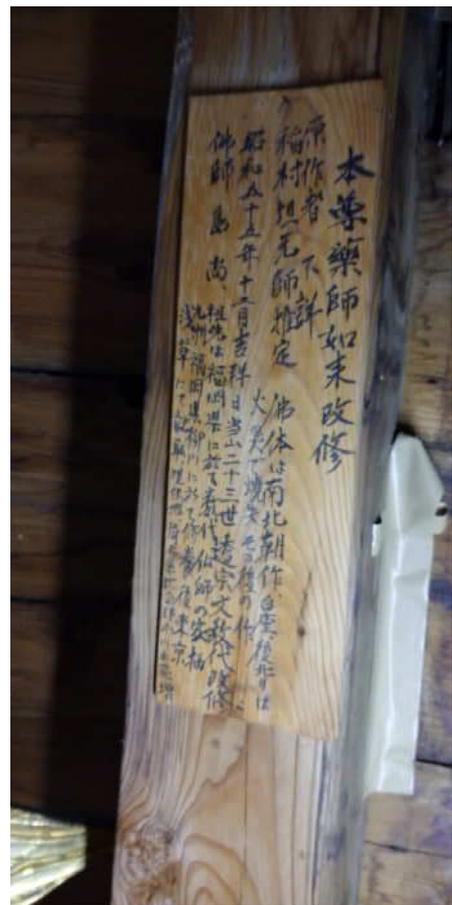
同 全身左側面



同 像底部



同 像内



厨子内 修理銘札

(案)

資料 3

答 申 書

令和 年 月 日

宇都宮市長 佐藤 栄一様

宇都宮市文化財保護審議委員会
委員長 梁木 誠

宇都宮市指定文化財の指定について（答申）

令和5年11月21日付「宇都宮市指定文化財の指定について」にて諮問のあった案件については、令和7年2月19日開催の文化財保護審議委員会にて調査審議した結果、下記のとおり答申する。

記

- 1 下記の物件を、宇都宮市文化財保護条例第4条の規定に基づき、宇都宮市指定文化財に指定することを適当とする。

(1) 名称又は員数又は種別

名称	員数	種別
木造薬師如来坐像	1 軀	有形文化財（彫刻）

(2) 所在地 宇都宮市徳次郎町1863

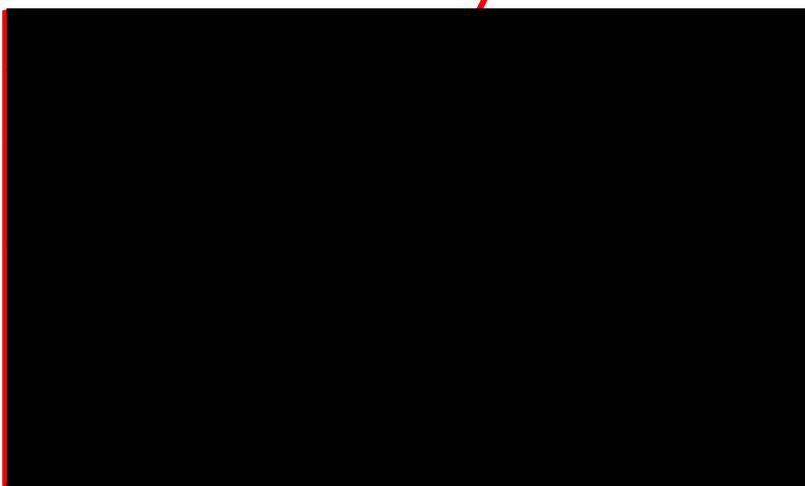
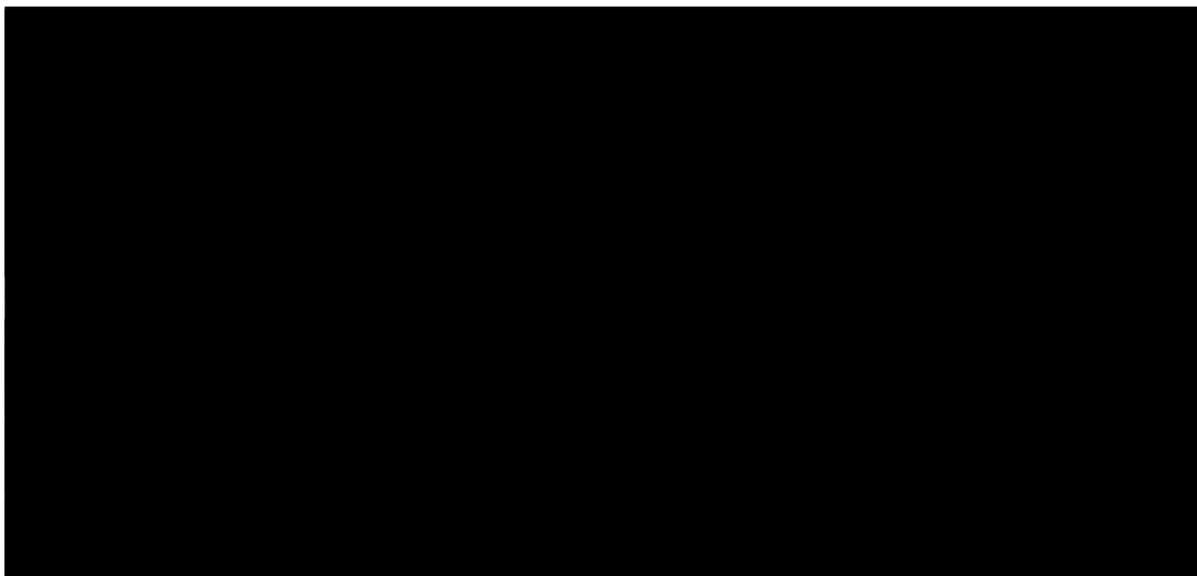
(3) 管理者の氏名および所在地

氏名 宗教法人 伝法寺

所在地 宇都宮市徳次郎町1863

【添付資料】 下砒上のウメ位置図

所在地： 



【添付資料】 下砥上のウメ写真



全景写真（北から）



地表約 2 m で 2 股に分かれている（南から）



胸高周囲 3.25m

答 申 書

令和 年 月 日

宇都宮市長 佐藤 栄一 様

宇都宮市文化財保護審議委員会
委員長 梁木 誠

宇都宮市指定文化財の指定について

令和6年6月10日付「宇都宮市指定文化財の指定について」にて諮問のあった案件については、令和7年2月19日開催の文化財保護審議委員会にて調査審議した結果、下記のとおり答申する。

記

- 1 下記の物件を、宇都宮市文化財保護条例第4条の規定に基づき、宇都宮市指定文化財に指定することを適当とする。

(1) 名称又は員数又は種別

名称	員数	種別
下砥上のウメ	1本	有形文化財（天然記念物）

(2) 所在地



(3) 管理者の氏名および所在地

氏名



所在地



令和 6 年度の主な文化財関係事業の報告について

1 文化財保存活用地域計画

- ・ 12月20日 「宇都宮市文化財保存活用地域計画」が文化庁より認定される。

2 文化財調査員

- ・ 5月14日 第1回宇都宮市文化財調査員会議
- ・ 10月 3日 第2回宇都宮市文化財調査員会議・視察研修
(旧大谷公会堂・伝法寺・徳次郎田中屋台)

3 文化財保護審議委員会

- ・ 8月 7日 第1回文化財保護審議委員会
- ・ 12月15日 第1専門調査部会
- ・ 11月 5日 第4専門調査部会
- ・ 2月19日 第2回文化財保護審議委員会

4 文化財の調査

埋蔵文化財の発掘調査

- ・ 埋蔵文化財包蔵地の照会数 4,963件 (1月末現在)
※前年度1月末 4,610件
- ・ 工事立会調査, 確認調査件数 62件 (1月末現在)
※前年度1月末 60件

5 文化財の維持・管理

(1) 指定文化財の修復事業

- ・ 10月30日 オオバボダイジュ樹勢回復事業
- ・ 12月16日～1月22日 石那田原坪屋台収蔵庫修繕事業
- ・ 9月1日～3月31日 御蔵山古墳環境整備事業

(2) 文化財防火デーに伴う文化財火災消防訓練及び文化財予防査察

- ・ 文化財火災消防訓練
【日時】 1月28日 (火) 13:30～
【会場】 智賀都神社
- ・ 文化財予防査察
【日時】 2月中旬～

(3)宇都宮市民遺産制度(みや遺産)の運用

- ・ 11月19日 第1回市民遺産会議 2件申請
- ・ 2月14日 第2回市民遺産会議
- ・ 2月 宇都宮市 審議
- ・ 3月 市民遺産認定式

6 文化財の活用・啓発

(1)文化財活用事業

- ・ 10月5日 宇都宮伝統文化フェスティバル 約900名参加
- ・ 12月20日～21日
お城EXPO2024出展「宇都宮三城(宇都宮城, 飛山城, 多気城)」
約20,754名参加

(2)うつのみや遺跡の広場

- ・ 5月5日 キスゲまつり 708名参加
- ・ 6月1日～8月31日 ニッコウキスゲ写真展 12作品出品
- ・ 7月27日 夏休み体験教室「土器づくり：成形」 24名参加
- ・ 8月17日 夏休み体験教室「勾玉づくり」 10名参加
- ・ 9月29日 夏休み体験教室「土器づくり：焼成」 24名参加
- ・ 11月1日～1月10日 巡回展「うつのみや新発見伝2024」
- ・ 2月23日 親子体験教室「野鳥の巣箱づくり」

※入館者数：11,812名(1月末現在)※前年度1月末11,588名

(3)旧篠原家住宅

- ・ 4月9日～5月6日 企画展「旧篠原家住宅所蔵五月人形展」669名見学
- ・ 7月20日～21日 切り絵体験教室 32名参加
- ・ 7月23日～8月24日 小中学生古民家探検教室 63名参加
- ・ 1月11日 初市夜間公開 157名参加
- ・ 2月4日～3月2日 ひな人形展
- ・ 3月1日 やよいのつどい

※入館者数：5,538名(1月末現在)※前年度1月末12,479名

(4)飛山城史跡公園・とびやま歴史体験館

- ・ 4月27日 親子で弓矢体験 27名参加
- ・ 5月2日～7月15日
巡回展「うつのみや新発見伝2024」 5,239名見学
- ・ 7月30日, 31日, 8月6日, 7日
夏休みとびやま体験教室 67名参加

- ・ 9月7日～11月10日
企画展「LRTとゆく古城探訪」 3, 181名見学
 - ・ 10月5日 お月見古城の音楽会 28名参加
 - ・ 11月2日～11月15日 中世の衣装で七五三 18名参加
 - ・ 2月11日～3月20日
企画展「宇都宮の成立を語るⅧ～宇都宮市の成立とその後～」
 - ・ 3月8日 第19回きよはら飛山まつり
- ※入館者数：32,045名(1月末現在) ※前年度1月末27,010名

(5)宇都宮城址公園ガイダンス施設

- ・ 7月8日～8月31日 企画展「うつのみやの戦災展」 3, 623名見学
 - ・ 10月5日～12月27日 企画展「源氏物語の時代のうつのみや」
7, 562名見学
 - ・ 1月20日～3月23日 巡回展「うつのみや新発見伝2024」
 - ・ 宇都宮市文化財ボランティア協議会による歴史・文化財等の案内解説(通年)
- ※入館者数：清明館歴史展示室 23, 832名(1月末現在)
※前年度1月末 26, 524名
宇都宮城ものしり館 36, 341名(1月末現在)
※前年度1月末 40, 379名

(6)上河内民俗資料館

- ・ 5月3日～7月7日 企画展「羽黒山のふもとで暮らした縄文人」 257名見学
 - ・ 6月22日 布ぞうり作り 8名参加
 - ・ 7月26日 親子で体験学び塾「小麦まんじゅう作り」 15名参加
 - ・ 8月23日 親子向け体験講座「ランプシェード作り」 34名参加
 - ・ 10月5日～12月1日 企画展「大谷の文化的景観展」 1, 039名見学
 - ・ 11月30日 親子で体験学び塾(ゆず料理) 20名参加
 - ・ 12月20日 親子で体験学び塾(ミニミニ門松作り)
 - ・ 2月1日～3月9日 企画展「ひな人形展」
- ※入館者数：2, 133名(11月末現在) ※前年度11月末2, 173名

(7)文化財めぐり

- ・ 5月11日 春の文化財めぐり(うつのみや遺跡の広場, 塚山古墳等) 25名参加
- ・ 6月29日 宇都宮の仏像(薬師堂, 能満寺, 善願寺, 大関観音堂) 31名参加
- ・ 8月3日 親子で参加!文化財めぐり(とびやま歴史体験館等) 10名参加
- ・ 10月5日 宇都宮の建造物(岡本家住宅, 旧大谷公会堂等) 21名参加
- ・ 11月16日 蒲生君平ゆかりの地を歩く(延命院, 蒲生神社等) 18名参加

(8)宇都宮の歴史と文化財ボランティアガイド養成講座(全10回)

- ・ 6月26日～1月29日 11名受講

(9)市民ホール(市役所1階)展示

- ・ 4月8日～4月12日 根古谷台遺跡パネル展
- ・ 6月24日～6月28日 みや遺産パネル展
- ・ 7月 8日～7月12日 宇都宮の獅子舞パネル展
- ・ 8月26日～8月30日 文化的景観パネル展
- ・ 11月18日～11月22日 宇都宮の神楽パネル展
- ・ 1月14日～1月17日 上神主・茂原官衙遺跡パネル展
- ・ 2月25日～2月28日 旧篠原家住宅パネル展
- ・ 3月3日～3月7日 飛山城パネル展

(10)日本遺産を通じた大谷石文化の魅力発信事業

- ・ 9月28日, 29日 ツーリズムEXPOジャパン(東京ビッグサイト)
- ・ 10月4日, 5日 日本遺産フェスティバル(福島県会津若松市)
- ・ 2月15日, 16日 日本遺産の日記念イベント(京都府京都市)

(11)宇都宮伝統文化継承事業

- ・ 宮っ子伝統文化体験教室

	学校名	学年	内容	実施(予定)日
1	石井小	6年生	ふくべ細工絵付け	6/7
2	豊郷南小	6年生	ミニぞうり	6/11
3	田原小	6年生	黄ぶな絵付け	6/18
4	御幸小	6年生	黄ぶな絵付け	6/19
5	東小	6年生	黄ぶな絵付け	6/21
6	西原小	6年生	黄ぶな絵付け	6/25
7	清原南小	6年生	黄ぶな絵付け	6/27
8	築瀬小	6年生	かんぴょう料理	7/2
9	城東小	6年生	黄ぶな絵付け	7/3
10	桜小	3年生	ふくべ細工絵付け	7/9
11	昭和小	6年生	黄ぶな絵付け	7/17
12	宝木小	3年生	ふくべ細工絵付け	7/18
13	上河内西小	6年生	小麦まんじゅう	9/4
14	平石北小	6年生	ふくべ細工絵付け	9/6
15	白沢小	5年生	ミニぞうり	9/19
16	今泉小	6年生	獅子舞	11/7
17	西が岡小	6年生	黄ぶな絵付け	11/8
18	上河内中央小	3年生	獅子舞	11/14
19	御幸が原小	6年生	ふくべ細工絵付け	11/21

20	新田小	6年生	ふくべ細工絵付け	11/22
21	西小	4年生	ふくべ細工絵付け	11/25
22	宮の原小	6年生	獅子舞	11/28
23	岡本北小	5年生	ふくべ細工絵付け	11/29
24	清原東小	6年生	黄ぶな絵付け	12/7
25	雀宮東小	4年生	お囃子	12/10
26	中央小	4年生	ふくべ細工絵付け	12/12
27	横川中央小	6年生	かんぴょう料理	12/19
28	岡本小	6年生	ふくべ細工絵付け	1/15
29	陽東小	6年生	ふくべ細工絵付け	1/23
30	城山西小	5年生	しもつかれ	1/24

(12)重要文化的景観

- ・ 6月24日 「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が
国の重要文化的景観に選定の答申
- ・ 10月5日 重要文化的景観選定記念講演会（大谷コネクト）
- ・ 10月11日 官報告示で「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が
国の重要文化的景観に選定

(13)その他の周知・啓発事業

・ 伝統料理講座

- | | | | |
|-----|--------|------------|------------|
| 第1回 | 6月29日 | 講話「川魚料理」 | 平石地区市民センター |
| 第2回 | 8月4日 | 講話「お盆の料理」 | 平石地区市民センター |
| 第3回 | 10月26日 | 講話「お月見の料理」 | 平石地区市民センター |
| 第4回 | 12月22日 | 講話「お正月料理」 | 富屋地区市民センター |
| 第5回 | 1月26日 | 講話「しもつかれ」 | 平石地区市民センター |

・ 伝統文化講座

- | | | | |
|-----|--------|------------|-------------|
| 第1回 | 11月30日 | 講話「太鼓」 | 上河内地区市民センター |
| 第2回 | 1月25日 | 講話「野州てんまり」 | 旧篠原家住宅 |
| 第3回 | 2月22日 | 講話「黄ぶな」 | 豊郷地区市民センター |
| 第4回 | 3月22日 | 講話「布ぞうり」 | 雀宮地区市民センター |